

令和3年度 指定管理者施設管理評価シート			部課名	文化産業観光部文化振興課
施設名称	7	東京都台東区立旧東京音楽学校奏楽堂	指定管理者	公益財団法人台東区芸術文化財団
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募	<input type="checkbox"/> 継続特例	<input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定期間
				R2.4.1 ~ R7.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 奏楽堂は、昭和58年に東京藝術大学より譲り受けた日本最初の木造洋式音楽ホールである。国の重要文化財でもあるため、奏楽堂を保存継承し、生きた文化財として活用することにより、芸術文化の振興を図る。
(2)	[所在地] 台東区上野公園8-43 [規模] 延べ床面積 1,851.39㎡ 木造地上2階地下1階（一部RC） 資料展示室、楽屋控室、楽屋、練習室、倉庫、パイプオルガン機械室、舞台、客席、ホワイエ、応接室、資料整理室、資料保管室、事務室、発電機室など
(3)	[委託事業] 休館中における施設・付帯設備及び物品の保全・調整、施設内の清潔整頓、その他環境整備などの事業。 [自主事業] 特別事業「パイプオルガン100周年記念演奏会」、パイプオルガン100周年記念企画展「南葵音楽文庫」、奏楽堂130周年記念演奏会、木曜コンサート、日曜コンサート・日曜特別コンサート、N響メンバーコンサート
(4)	[利用者] 開館中全来館者 [利用料金制] <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 開館日：日・火・水曜日（木・金・土曜日はホール等の使用がない場合）・休館日：月曜日／年末年始 ／特別整理期間等・開館時間：午前9時30分～午後4時30分
(6)	[人員体制] 7名 （内 訳）固有常勤職員（1）専門スタッフ（1）特例嘱託員（1）派遣職員（1）再任用職員（3） （前年増減）1名減（再任用職員1名減）

2. 予算決算		R元予算	R元決算	R2予算	R2決算
収入	委託料（指定管理料）	25,637,000	19,638,516	28,237,000	21,194,746
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入（ ）	0	0	0	0
	計	25,637,000	19,638,516	28,237,000	21,194,746
支出	人件費	0	0	0	0
	光熱水費	6,414,000	5,246,255	6,600,000	4,983,764
	維持管理費（委託料・賃借料）	15,480,000	11,383,289	18,549,000	13,879,528
	修繕費	500,000	337,700	500,000	205,700
	事業費	0	0	0	0
	その他支出（印刷製本費等）	3,243,000	2,671,272	2,588,000	2,125,754
	計	25,637,000	19,638,516	28,237,000	21,194,746
収支			0		0

3. 活動指標	単位	(目標値)R4年度	H30年度	R元年度	R2年度
開館日数	日	152	91	169	124
ホール使用日数	日	205	53	205	203

4. 成果指標	単位	(目標値)R4年度	H30年度	R元年度	R2年度
入館者数	人	8,100	16,651	21,650	6,126
ホール利用件数	件	113	35	137	50

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取組み状況
区と連携を図り、新型コロナウイルス感染拡大に伴う、自主事業の中止や施設の臨時休館、ホール利用貸出の感染防止策に対応した。

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	事業計画書・報告書等の作成・提出をはじめ必要な手続きを適切に行うとともに、必要な事項について区と協議しながら、適正な管理体制のもと運営が行われた。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
17 / 20 点	区と連携を図り、新型コロナウイルス感染拡大に伴う、自主事業の中止や施設の臨時休館、ホール利用貸出の感染防止策に適切に対応した。コロナ禍においてコンサート等の多くの事業が中止となった。今後、体験教室等は動画配信を活用するなどの工夫が望まれる。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	コロナ禍において、ホール等施設設備の消毒や演奏会に係る感染防止対策など、集客ホールを有する施設として力を入れて取り組んだ。施設設備の不具合等について、区に迅速かつ適切に連絡、対応した。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
17 / 20 点	動画によるコンサートの配信、建物の映像公開など、コロナ禍に対応した情報発信を行った。今後は感染症対策を図りながらも、来館者の声を取り入れるための工夫が必要である。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
17 / 20 点	コンサート等チケット販売収入が大幅に減少したが、新型コロナウイルス感染拡大によるやむを得ない事由による。グッズ作成等管理経費の縮減に努めたが、受付委託費の新規計上やコロナ禍での清掃委託費などの増が支出増に大きく影響した。

(6) 優れた取組み ◀加点項目▶ ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取組みによる成果
3 点	コロナ禍において来館したくてもできない方たちのために動画を作成、WEB上に公開し、アフターコロナにおける入館者増に備えた。

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (94 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>区と連携を図り、新型コロナウイルス感染拡大に伴う、自主事業の中止や施設の臨時休館、ホール利用貸出の感染防止策に適切に対応した。また動画配信を活用した情報発信に積極的に取り組んだ。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大に伴い、予定されたコンサート事業が中止となった。今後、体験教室等は動画配信を活用するなどの工夫が望まれる。</p> <p>また感染症対策を図りながらも、来館者の声を取り入れるための工夫が必要である。</p>